

令和5年度 京都市立桃山東小学校 学校教育構想図

【学校教育目標】

今を大切に 夢に向かって 自ら学び 共に学び合う子

【資質・能力】

【課題発見力・実行力】

現状を分析し、目標や課題を設定し、その達成に向け、ねばり強く実行する力

【コミュニケーション能力】

自分の思いや考えを、適切な方法を選んで伝えたり、共感的に思いを受け止めたりして、相互に人間関係を構築する力

【主体性】

自ら課題を設定し、その目標達成に向けて、一定の見通しを持ちながら、進んで取り組む態度

【自己有用感】

他者や集団との関係の中で、自分の存在を価値あるものとして受け止める感覚

【社会性】

他者を理解し思いやり、他者の立場にたって考え行動し絆を深める共感能力

【人権感覚】

自分の大切さと共に他の人の大切さを認めることができるために必要な感覚

【めざす学校像】

笑顔・あいさつ・ありがとう があふれる学校 ～明日もきたい(来たい・期待)学校づくりをめざして～

○子どもたちの「わかった」「できた」の「笑顔」があふれる学校。明日も来たいと、登校を楽しみにする学校

○家庭・地域と連携し、保護者・地域の方々から、信頼され、応援したくなる学校。「あいさつ」「ありがとう」があふれる温もりある学校

○教職員にとって、子どもの「笑顔」をやりがいに、誇りと働き甲斐のある学校

【めざす教職員像】

○子どもたちのいのちを守りきる教職員

○子どもたちによりそい一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員

○子どもたちのために、自らの専門性の向上につとめ、教育の質を高める教職員

○子どもたち一人ひとりの可能性をひろげるために、ひろい視野をもって取り組む教職員

○子どもたちの今と未来をつなげ、校種間・地域、保護者とつながりながら子どもたちを支える教職員

【めざす子ども像】

進んで学び、伝え合う子

- ◆学習活動の基本となる姿勢(学びの約束やルール)を確実に身に付けることができる。
- ◆基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。
- ◆自分の思いや考えを積極的にわかりやすく表現し、伝え合うことができる。
- ◆情報活用能力を生かし、自ら課題や疑問点を見つけ、計画をたて、調べ、解決するために実行することができる。
- ◆自分の課題を把握し、目標をもって進んで学習に取り組むことができる。
- ◆意見や考えを伝え合い、課題解決に向け前向きに取り組むことができる。
- ◆主体的に家庭学習に取り組むことができる。

互いに尊重し合い、協力する子

- ◆自ら進んですてきなあいさつをすることができる。
- ◆自分も周りの人も大切にすることができる。
- ◆相手の話を、温かく聞くことができる。
- ◆お互いの良さを見つけ、認め合うことができる。
- ◆相手の立場になって考え、思いやりをもって行動することができる。
- ◆みんなと一緒にやり遂げる楽しさ、協力することの大切を実感することができる。
- ◆周りの人を笑顔にするために、規範意識をもって、正しく判断をし、行動することができる。
- ◆感謝の気持ちや思いやりの心を言葉や行動で伝えることができる。
- ◆社会や学校のルール、人との約束を守って正しい行動をとることができる。

心も体も健やかでたくましい子

- ◆食事、運動、休養、睡眠の調和のとれた生活習慣を身に付け、心も体も大切にすることができる。
- ◆運動やスポーツを通して、体を動かすことを楽しむと共に、達成感・成就感を味わい、心も体も健やかに保つことができる。
- ◆自ら学校や地域において、危険を予測したり、ルールやマナーを守ったりして危険から自分を守り、安心・安全を考えて行動することができる。
- ◆心身の健やかな成長や発達を阻害することに対して正しい知識をもち、適切に行動することができる。
- ◆失敗を恐れずチャレンジし、最後まであきらめずに頑張りぬくことができる。
- ◆学校における「新しい生活様式を踏まえ、自らの健康を管理し、よりよくしていくことができる。

【主な取組】

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- わかる喜びと学び合う楽しさを実感できる授業
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実
- 情報活用能力の育成とICTの効果的な活用
- 読書活動の促進
- 家庭学習自学自習の習慣化
- 学力分析・考察による学力向上の取組
- 個に応じた指導の充実

- 規範意識・社会性の育成
- 人権尊重の精神と態度の育成
- 豊かな感性をはぐくむ教育の推進
- 道徳教育の充実
- 主体性を高める取組の推進
- 支え合い高め合う集団作りの推進と絆づくり
- 自己有用感を高める取組
- 生徒指導体制の充実

- 安全・防災教育の充実
- 運動やスポーツの実践と体力の向上
- 新しい生活様式を踏まえた健康教育の充実
- 早寝早起き朝ごはんなどの規則正しい生活習慣の確立
- 保健教育の充実
- 食に関する指導の推進
- 気持ちよく過ごすことができる環境整備

主体的・対話的で深い学びの実現

コミュニケーション能力の育成